

©新機・サンライズ



GUNDAM MK-II A.E.U.G. PROTOTYPE MOBILE SUIT RX-178

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing". Fine details are reproduced along with abundant colored parts. The movable hinge which is as wide as possible was mounted on the assembled inner frame which is simply cut out. We want to let all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit. Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.

BANDAI 2012 MADE IN JAPAN ●パッケージの画像と商品とは多少異なる場合がありますのでご了承ください。



RG¹⁴⁴
EXCITEMENT EMBODIED

08 GUNDAM MK-II A.E.U.G. PROTOTYPE MOBILE SUIT RX-178 リアルグレード 1/144 スケールモデル ガンダム Mk-II (エウゴ仕様)

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
We want to tell all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.



△ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

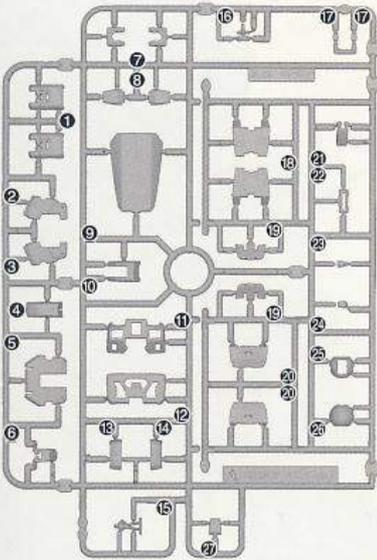
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト

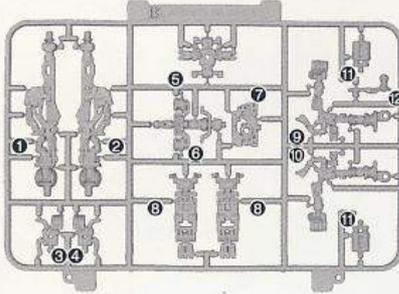
※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。ピンセット等をご使用になると便利です。(道具類は付属しておりません。別にご用意ください。)

(X印は使用しないパーツです。)

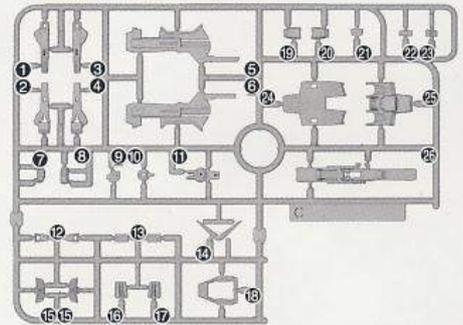
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



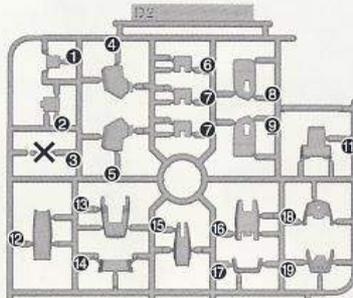
Bパーツ (ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)



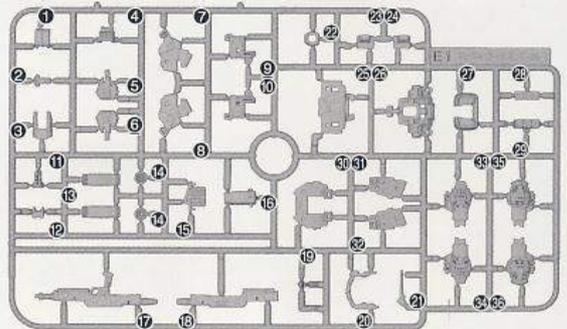
Cパーツ **アンダーゲート有り**
(スチロール樹脂: PS)



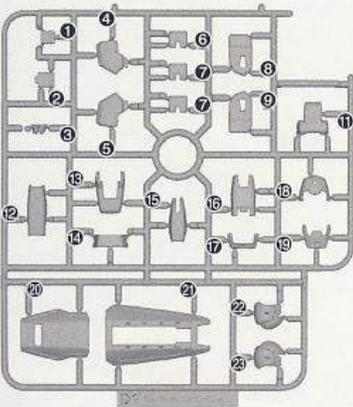
D2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



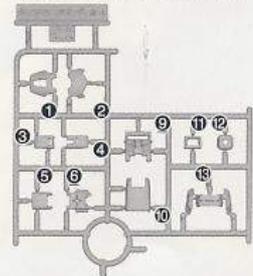
E1パーツ (スチロール樹脂: PS)



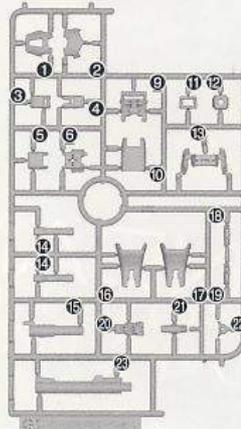
D1パーツ (スチロール樹脂: PS)



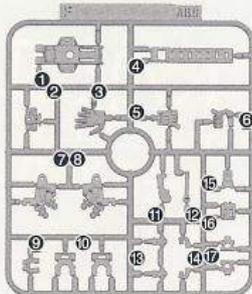
G2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



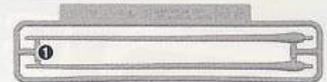
G1パーツ
(スチロール樹脂: PS)



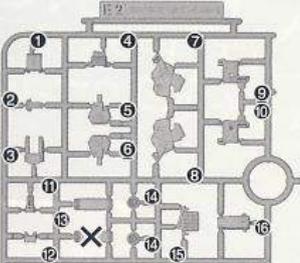
Fパーツ
(ABS樹脂: ABS)



SB1パーツ (スチロール樹脂: PS)



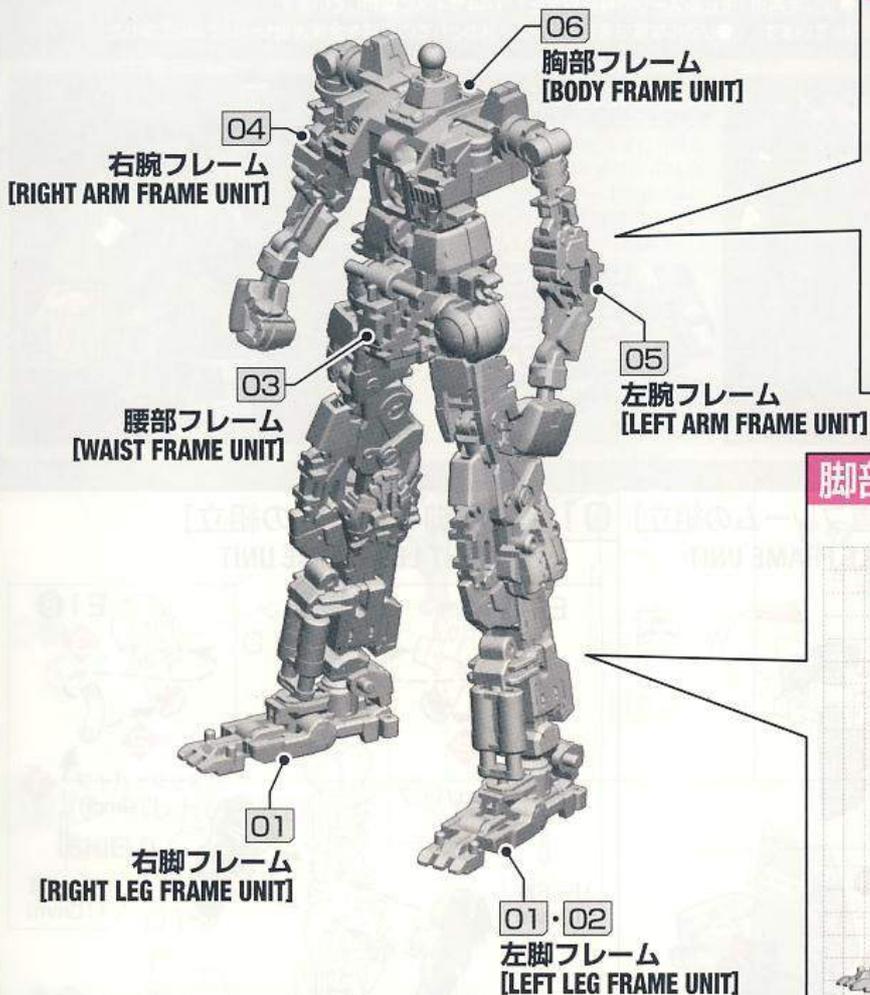
E2パーツ (スチロール樹脂: PS)



- メッシュパイプ.....1本
(PET樹脂: PET)
- リード線.....1本
(塩化ビニル樹脂: PVC)
- リアリスティックデカール...1枚

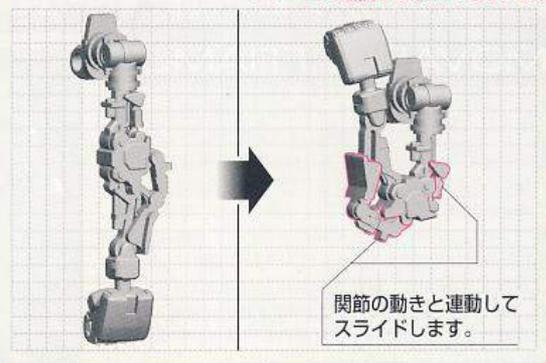
※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

アドヴァンスドMSジョイント5(Bパーツ)のフレーム構成



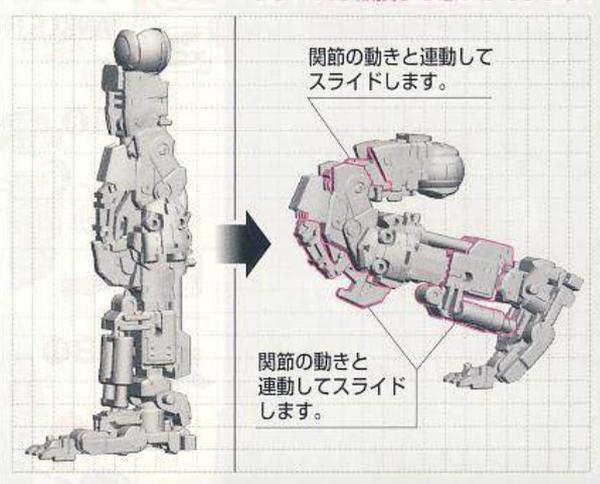
腕部の可動

※可動させる際にはスライドするパーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。



脚部の可動

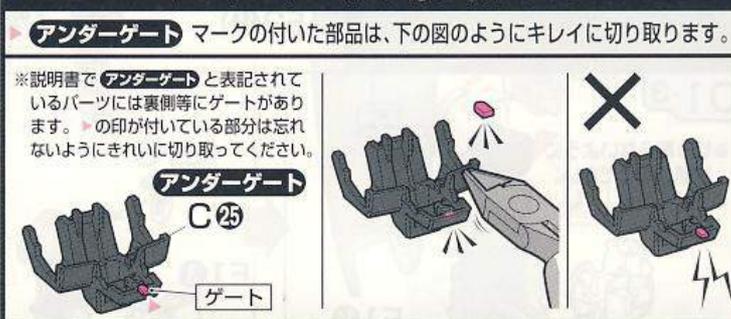
※可動させる際にはスライドするパーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。



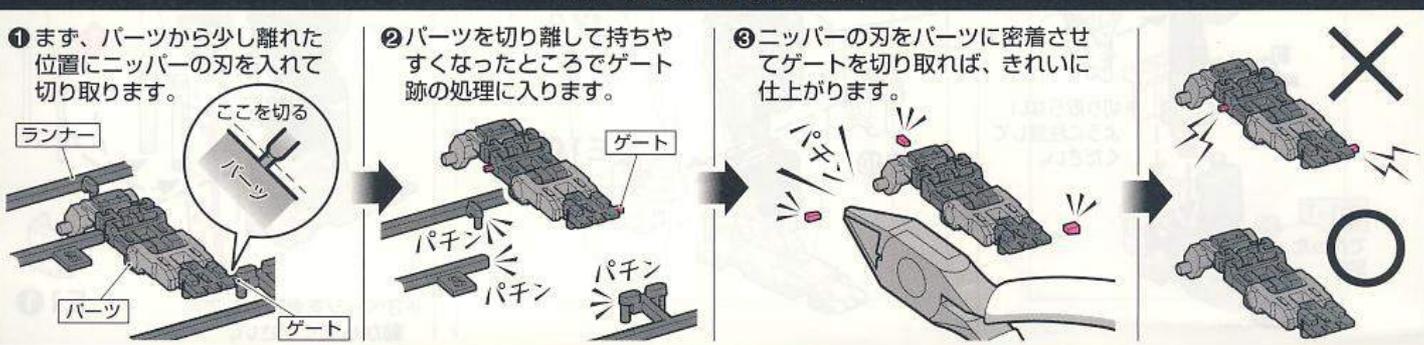
リアスティックデカールの貼りかた



アンダーゲートの切り取りかた



パーツの切り取りかた



モビルスーツの「リアル」を実体験するために生み出された表現技法です。 ●全設定再現：モビルスーツの機能設定を1/144サイズに集約しています。
●組み立て済みジョイントフレーム：最小限の部品数で、最大限の可動を実現しています。 ●リアルな質感表現デカール：メカとしての質感を金属表現シールで再現しました。

MOVABLE FRAME

“ムーバブル・フレーム”は、ティターンズ主導のもと、連邦軍生え抜きの技術者だけで開発されていたガンダムMk-IIに初めて本格的に全面採用されたMSの基礎構造である。それはまさしくMSを人体に見立てたもので、概念的には人間の骨格と筋肉そのものと言える。可動のための基本構造を、装甲や武装などは独立して構成することで、駆動効率を優先した設計が可能となり、装甲のスライドや開閉も自在に設定可能とすることで、運動性の飛躍的な向上を達成している。並行して各種回路の取り回しやエネルギー経路なども刷新されたため、既存の機体と比較して生産性や整備性が格段に向上している。無論、Mk-IIのものはあくまで試作段階のものであったが、“ムーバブル・フレームの出現”によって、MSは抜本的な変革期を迎えたと言っても過言ではない。



ADVANCED MS JOINT

多重インサート成形という特殊技術により、切り取るだけの手軽さでありながら、フレームの精密感や、驚異的な可動機構を備えた、リアルグレード専用の内部フレームです。

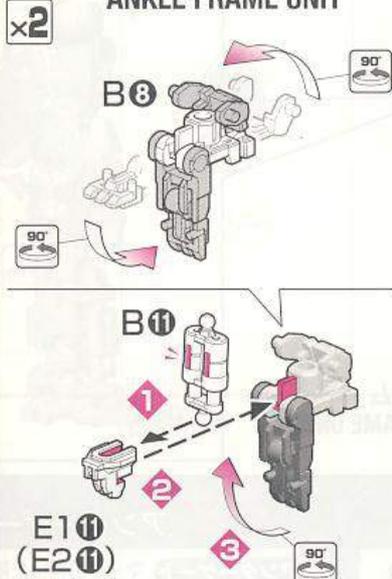


MOVABLE FRAME



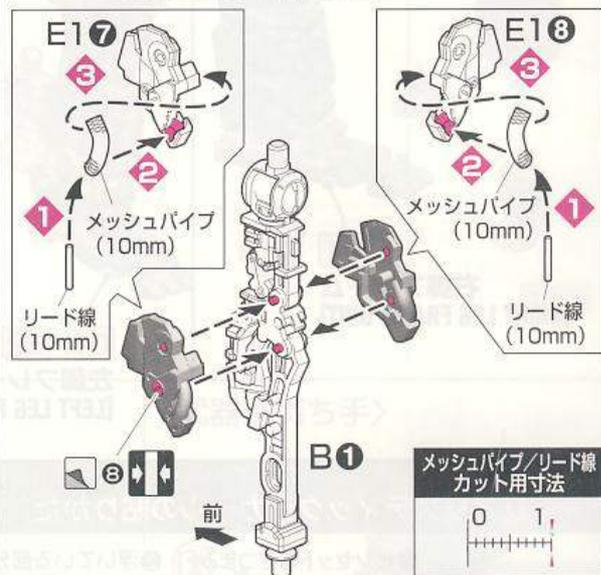
01-1 [足首フレームの組立]

ANKLE FRAME UNIT

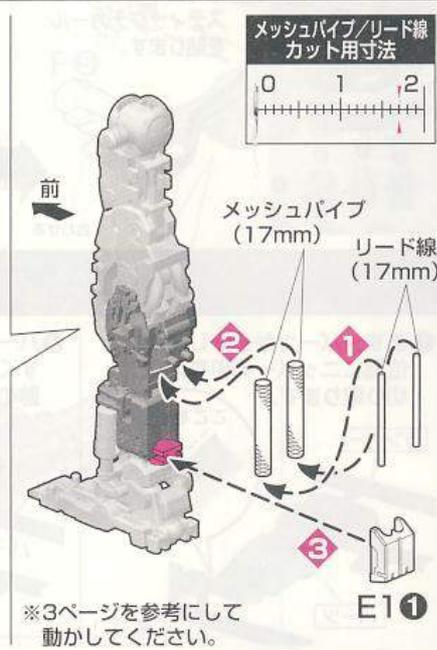
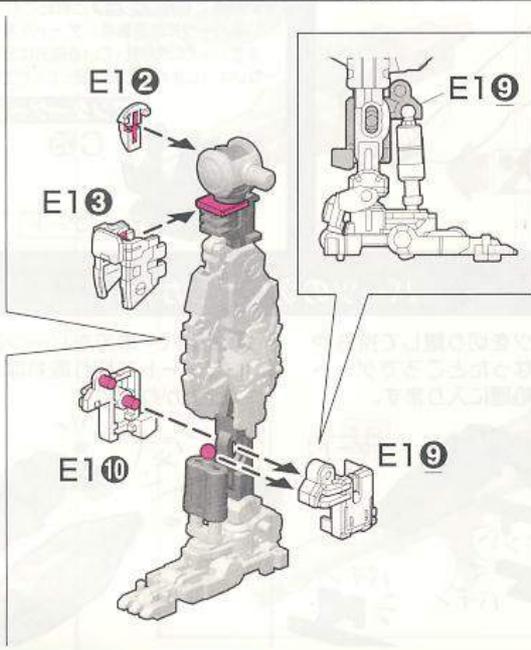
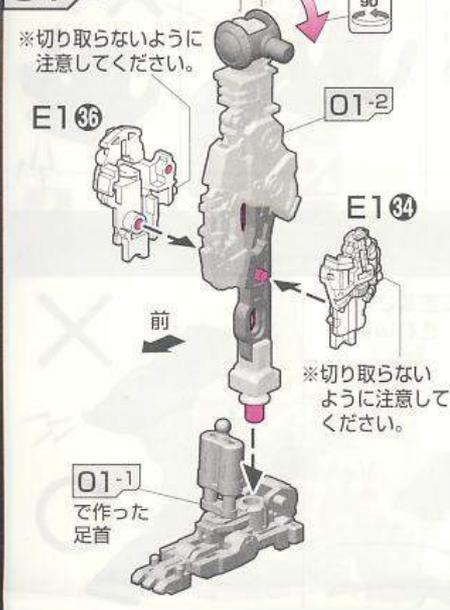


01-2 [右脚フレームの組立]

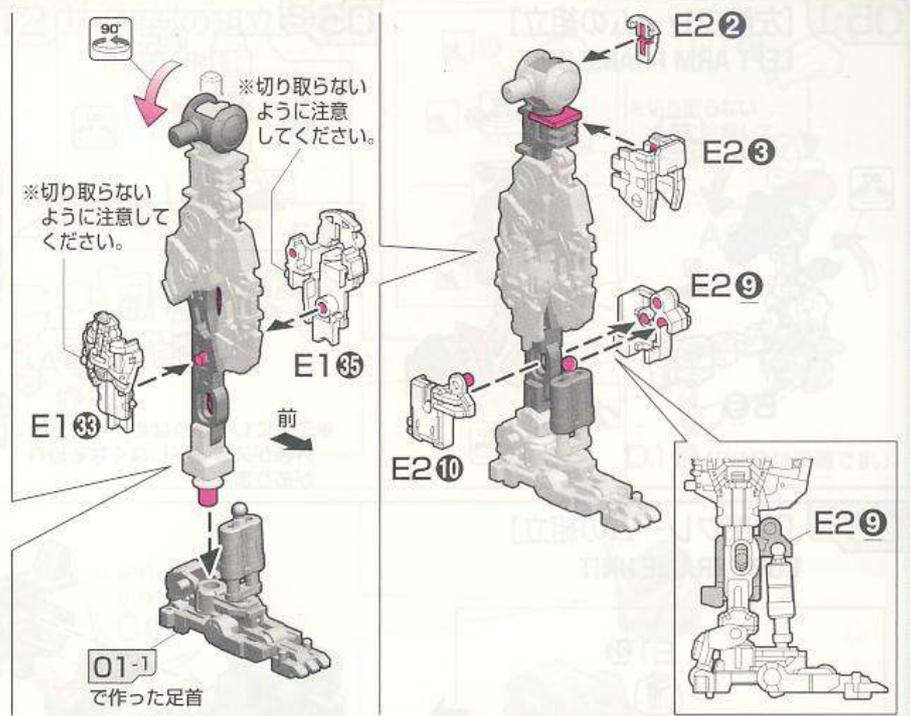
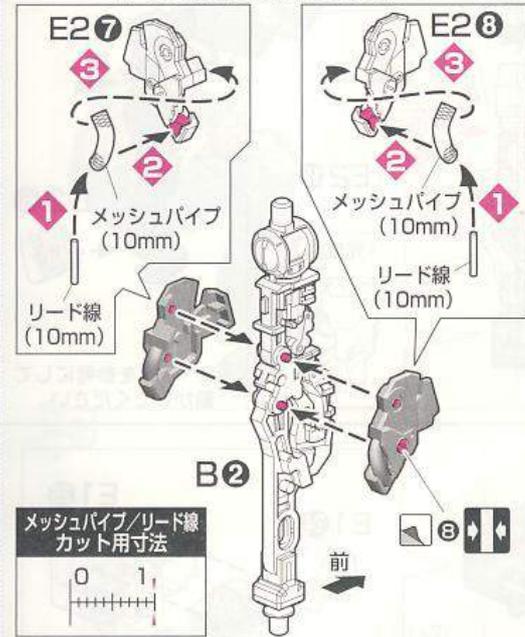
RIGHT LEG FRAME UNIT



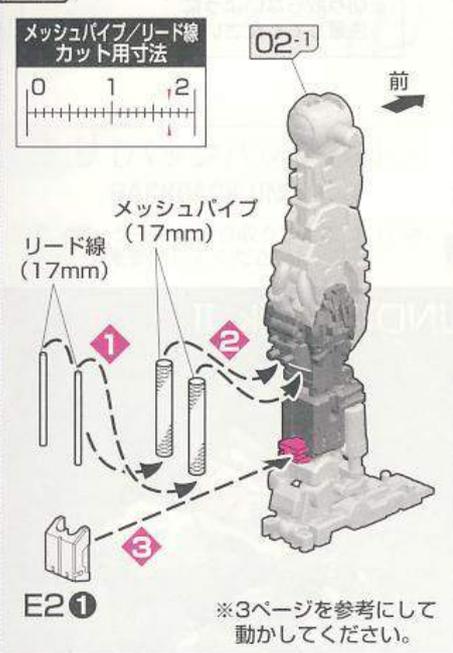
01-3



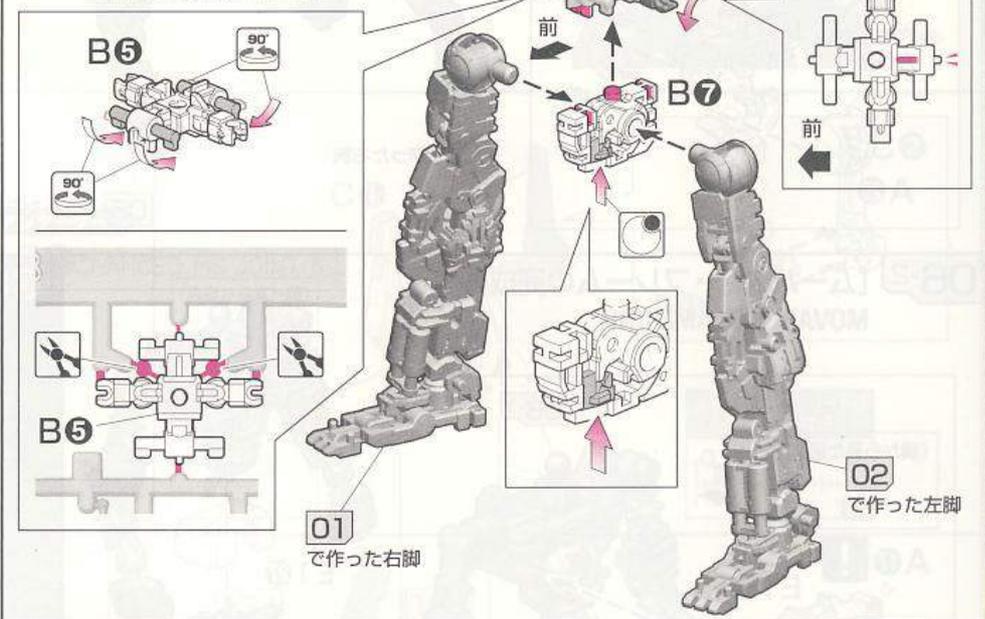
02-1 [左脚フレームの組立]
LEFT LEG FRAME UNIT



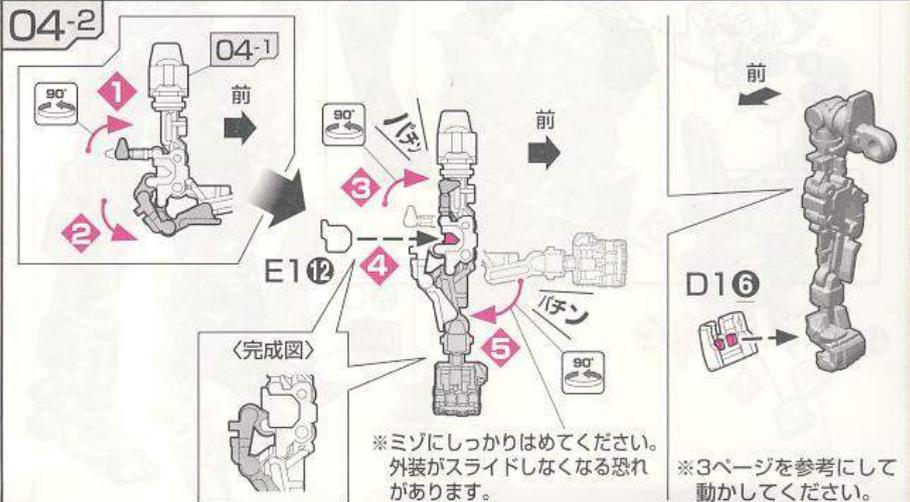
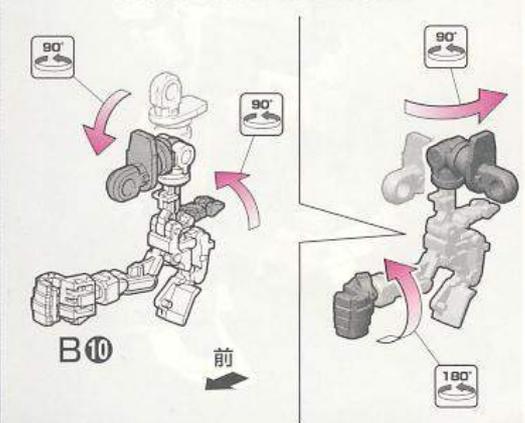
02-2



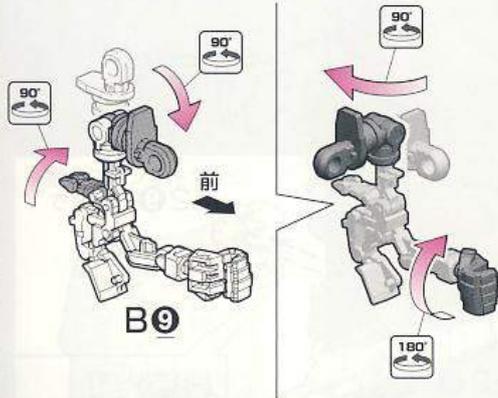
03 [腰部フレームの組立]
WAIST FRAME UNIT



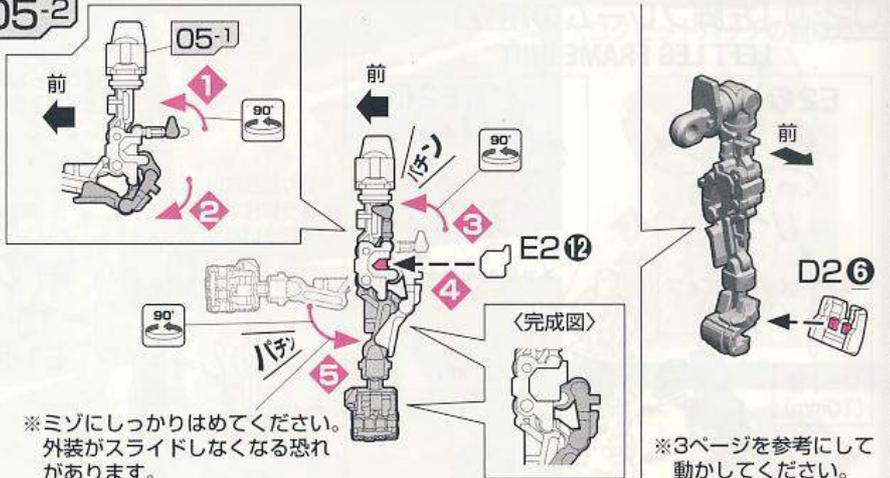
04-1 [右腕フレームの組立]
RIGHT ARM FRAME UNIT



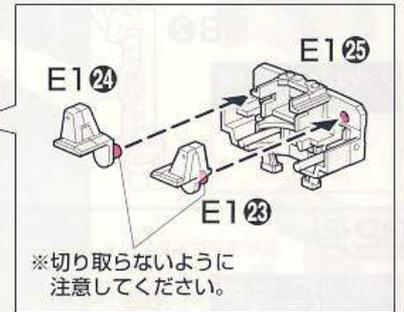
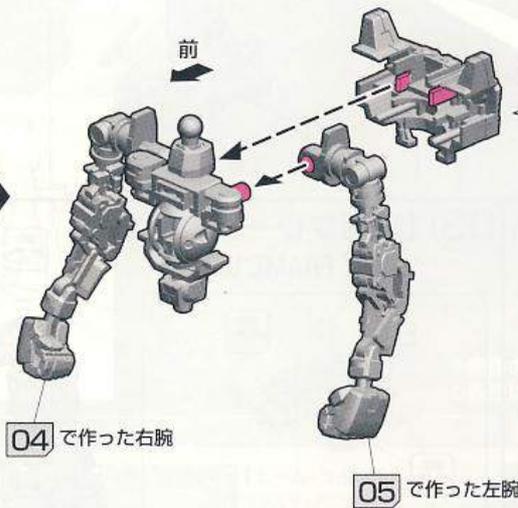
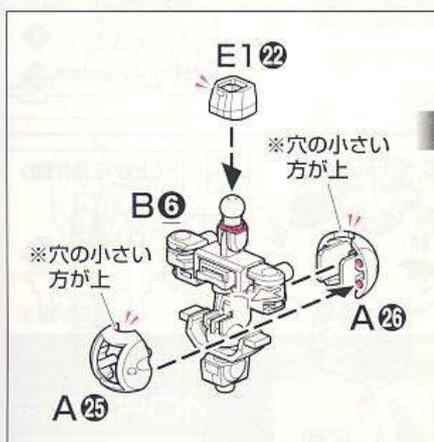
05-1 [左腕フレームの組立]
LEFT ARM FRAME UNIT



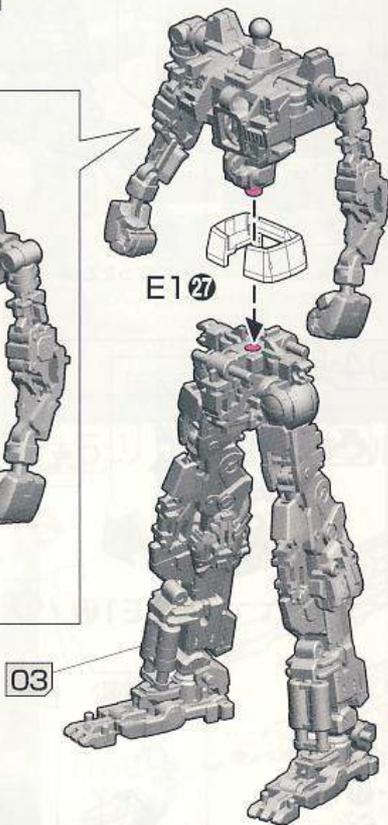
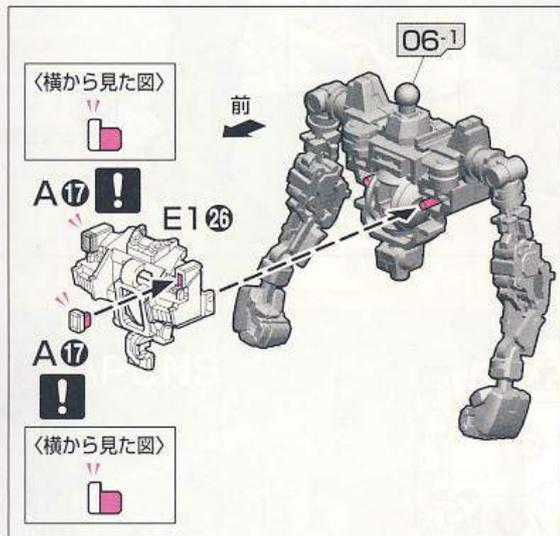
05-2



06-1 [胸部フレームの組立]
BODY FRAME UNIT



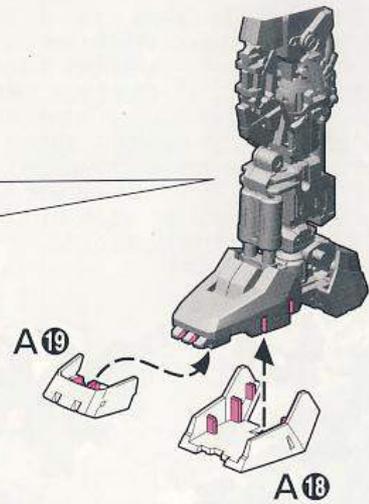
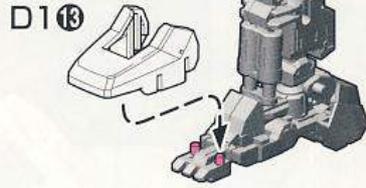
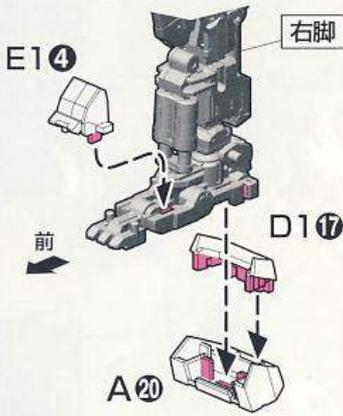
06-2 [ムーバブル・フレームの完成]
MOVABLE FRAME UNIT



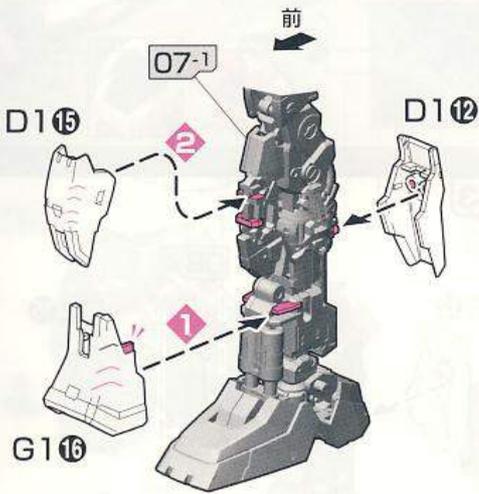
GUNDAM Mk-II



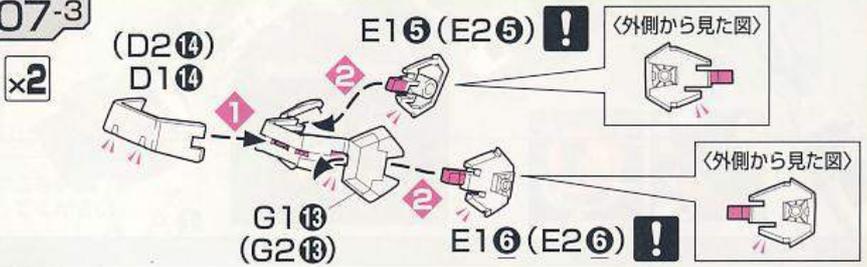
07-1 [右脚外装の組立]
RIGHT LEG ARMOR UNIT



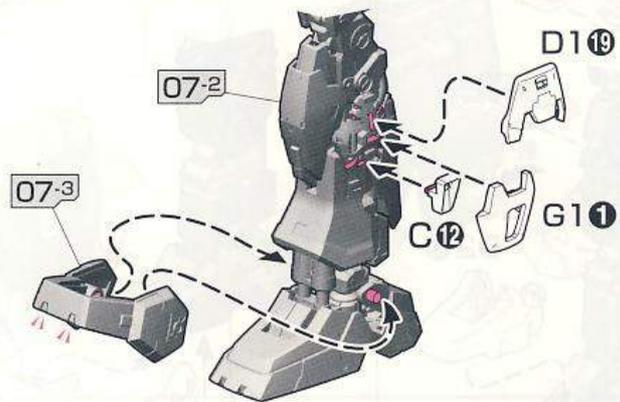
07-2



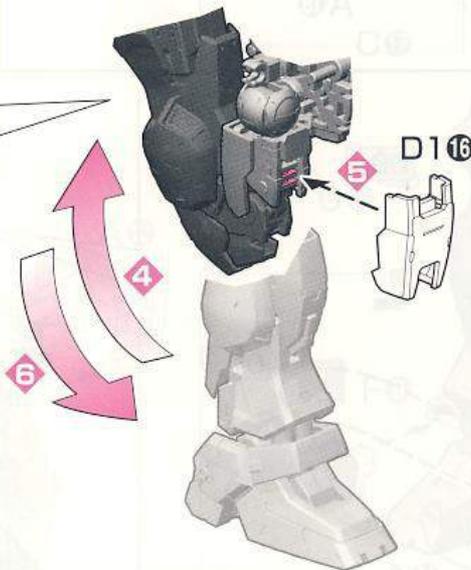
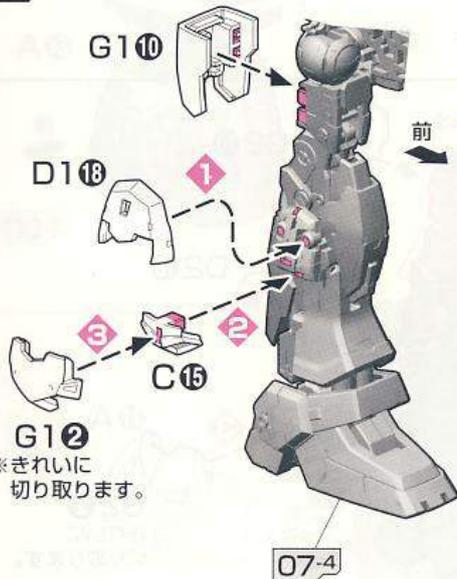
07-3



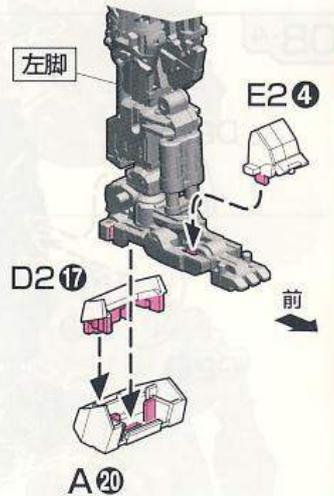
07-4



07-5



08-1 [左脚外装の組立]
LEFT LEG ARMOR UNIT



※組立図中の記号説明

! 向きに注意して組み立てる

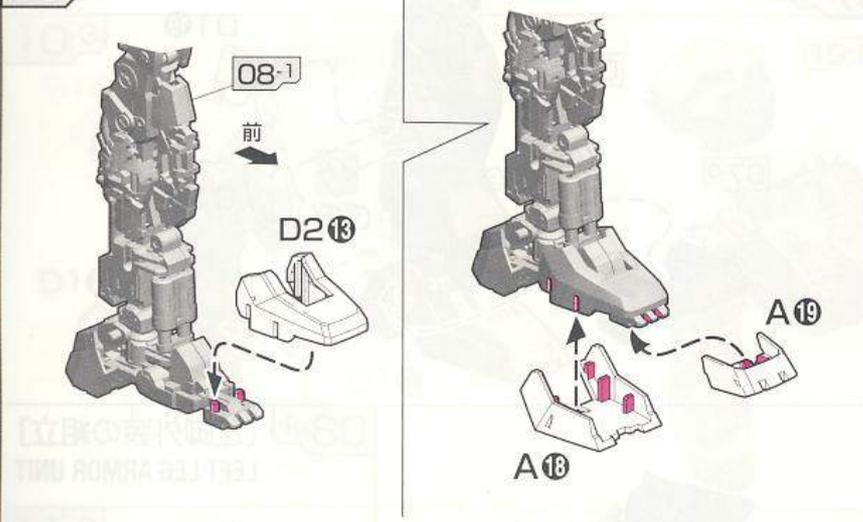
x2 部品を数値の個数作ります

GUNDAM Mk-II [A.E.U.G.]

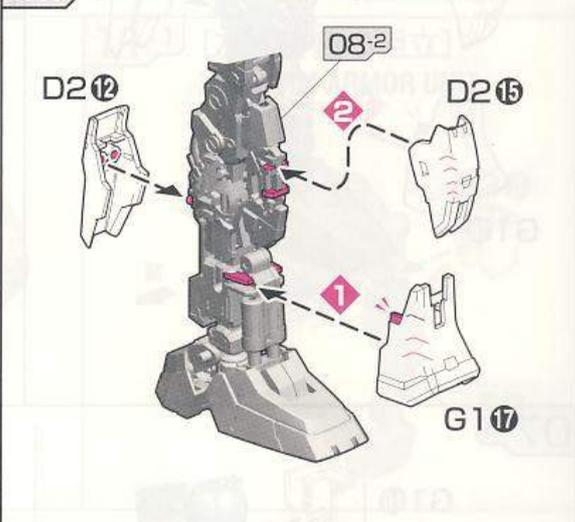
ティターンズから3機のガンダムMk-IIを強奪したエゥーゴは、2機をアーガンに残し、うち1機は塗装を変えて実戦投入し、ついで実働データを集め、もう1機は整備用のパーツ取りに供することとした。そして、最後の1機を研究用に取用し、スポンサーであると同時に兵器の供給元でもあるAEI(アナハイム・エレクトロニクス社)に提供することとした。"デラース紛争"以来、実質的に断絶していた"純連邦系技術"を手に入れることになったAEIは、その画期的なコンセプトを貪欲に取り込むことで、独自技術の"ブロックビルドアップ"の問題点を解消したばかりか、停滞していた"Zプロジェクト"の進展をも見るようになった。無論、ガンダムMk-IIそのものが抱えていた問題点の解消や改良はもとより、専用オプションの開発なども積極的に行われた。これにより、ティターンズにおいては既に旧式扱いされていたMk-IIは、当時の最新鋭機に匹敵するスペックを獲得する。すなわちガンダムMk-IIは、エゥーゴに強奪されたからこそ、そのポテンシャルを存分に発揮することができたのだと言えるだろう。



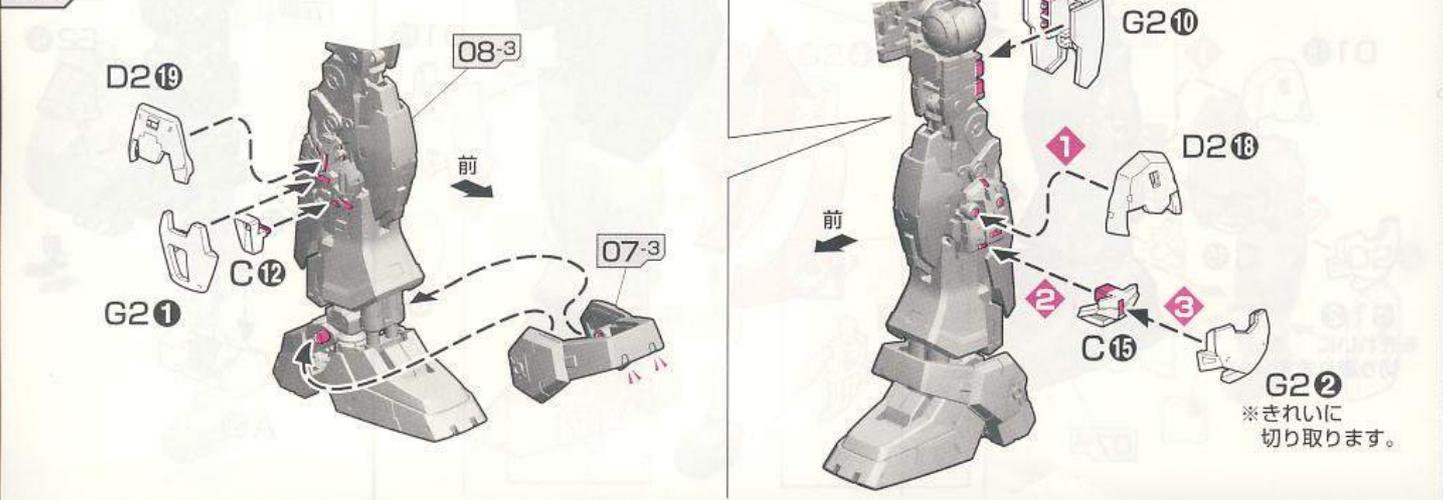
08-2



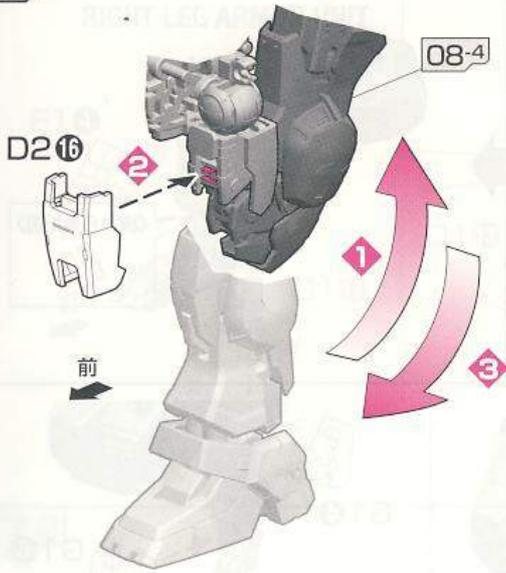
08-3



08-4

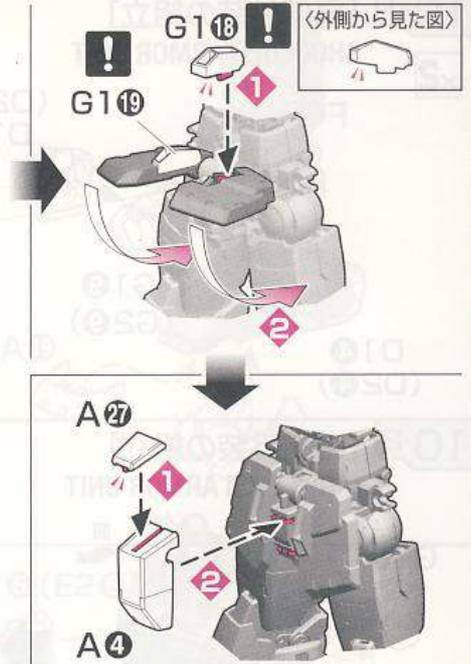
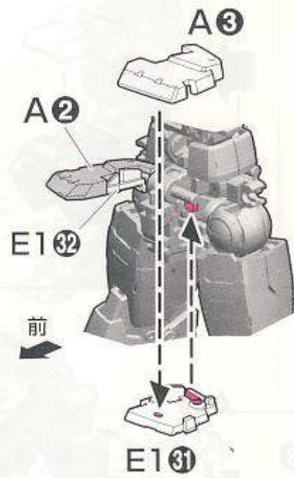


08-5

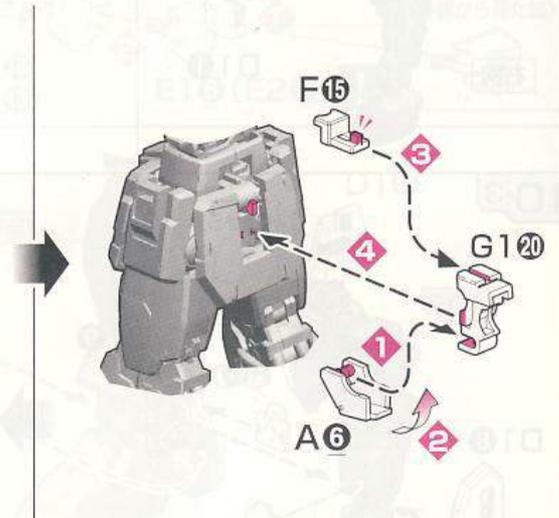
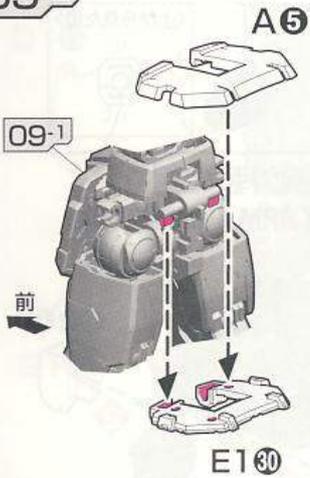


09-1

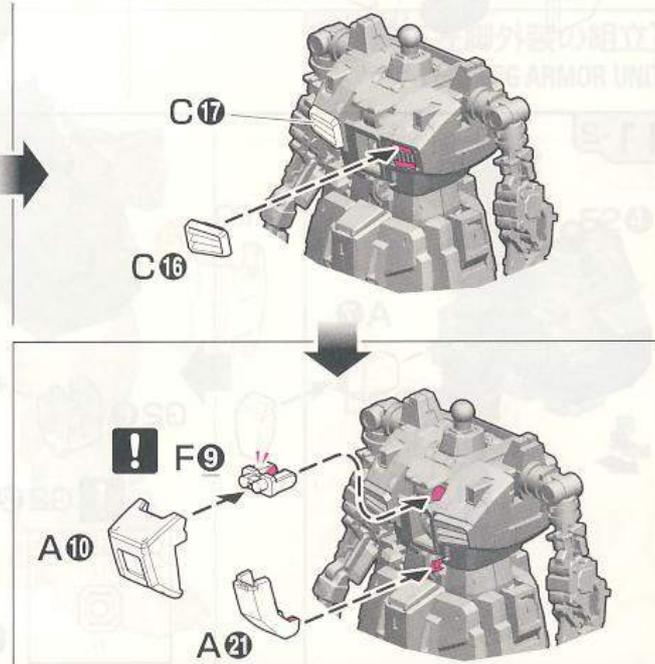
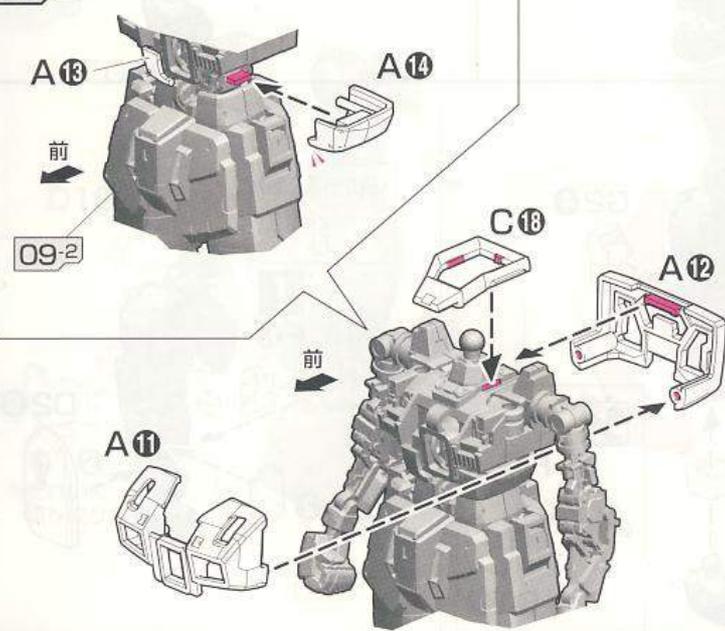
[腰部外装の組立]
WAIST ARMOR UNIT



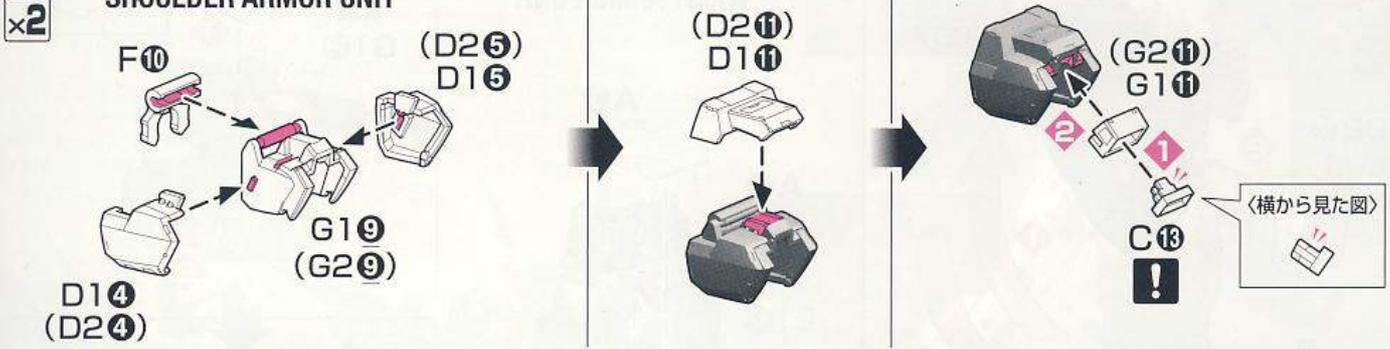
09-2



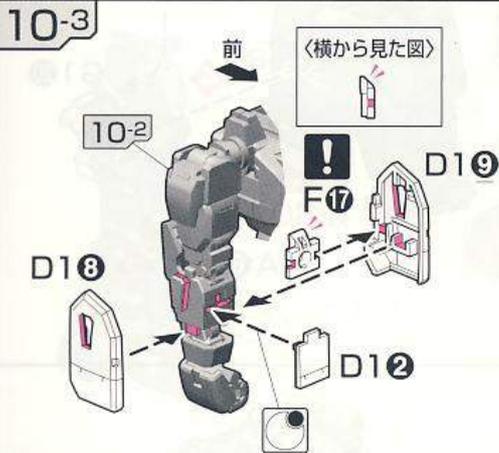
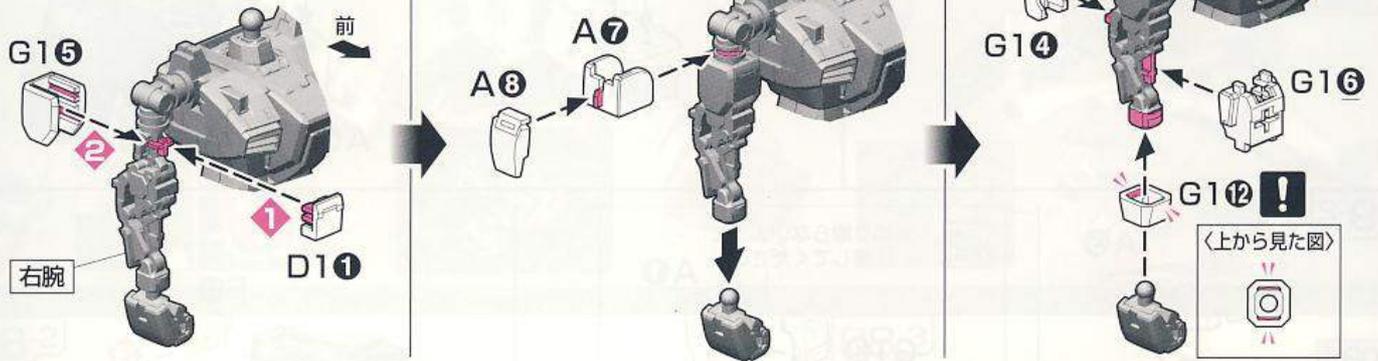
09-3



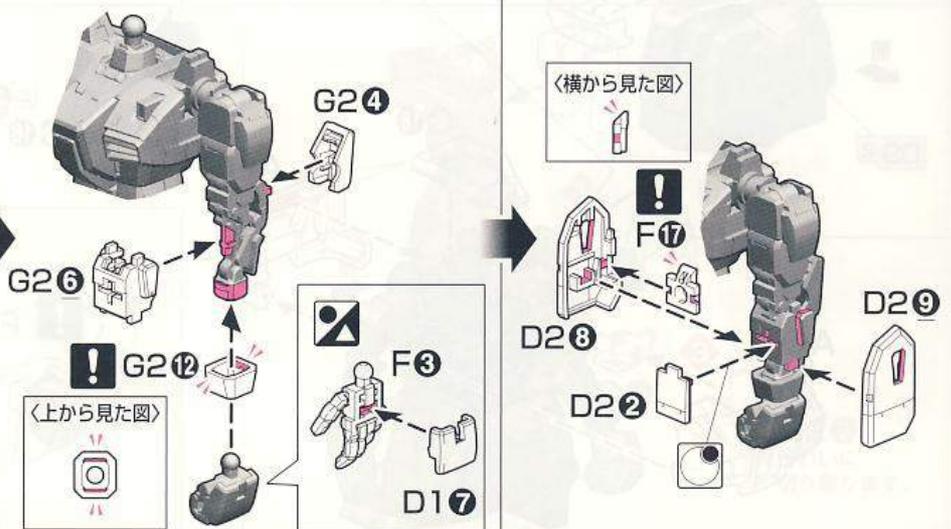
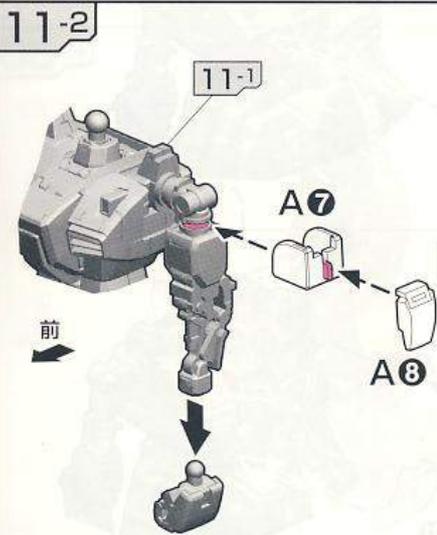
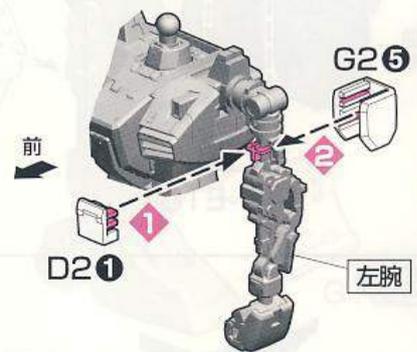
10-1 [肩部外装の組立]
SHOULDER ARMOR UNIT

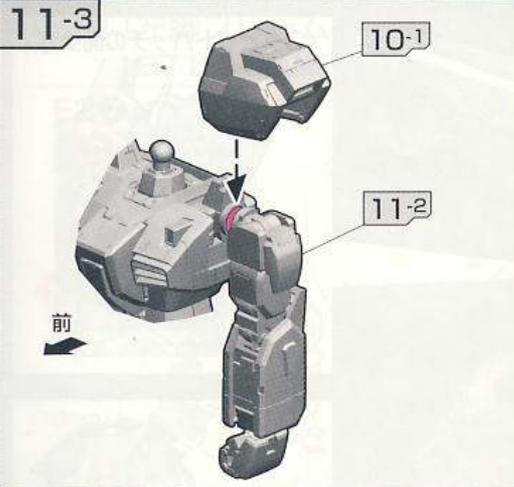


10-2 [右腕外装の組立]
RIGHT ARM ARMOR UNIT

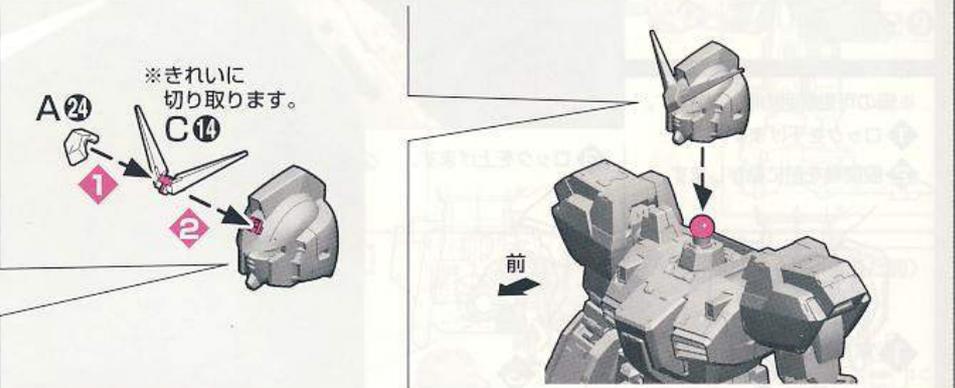
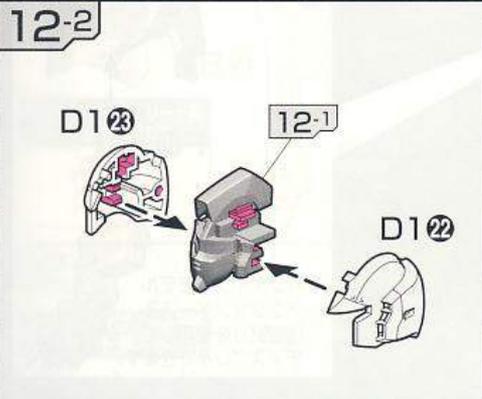
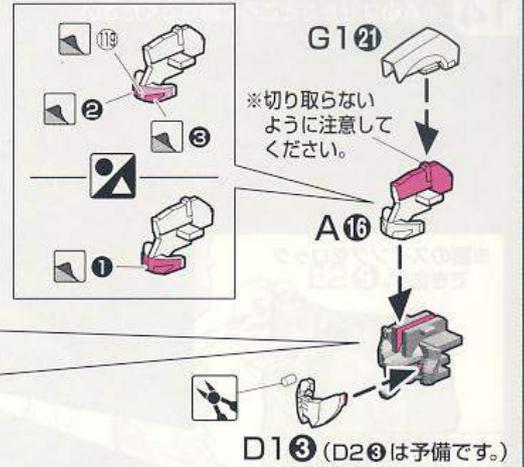
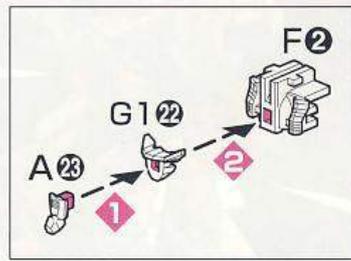


11-1 [左腕外装の組立]
LEFT ARM ARMOR UNIT





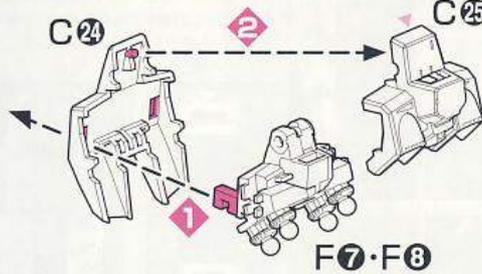
12-1 [頭部の組立]
HEAD UNIT



13-1 [バックパックの組立]
BACKPACK UNIT

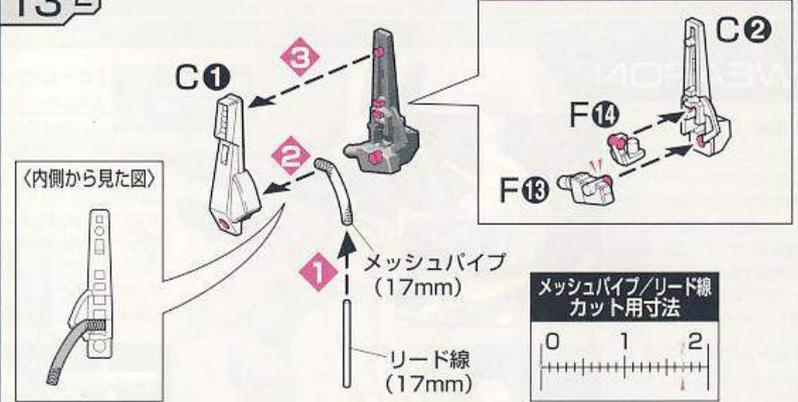
※アンダーゲートの切り取りかたについては、3ページを参照してください。

アンダーゲート

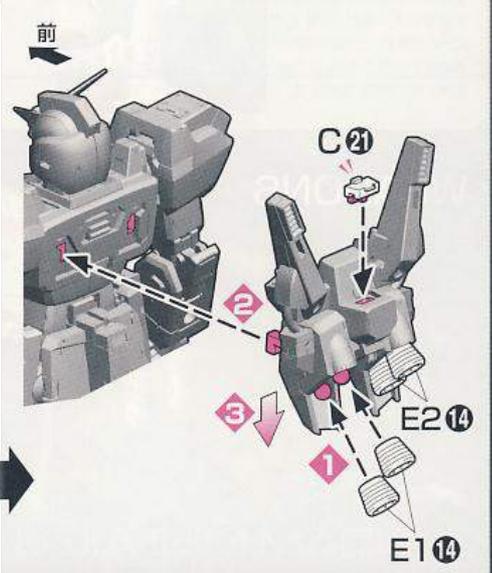
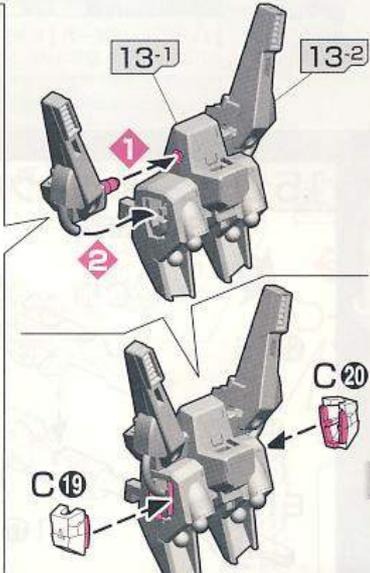
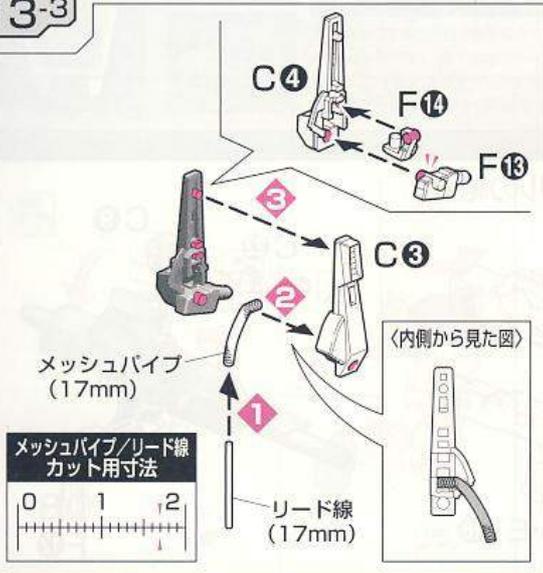


13-2

<内側から見た図>



13-3



14 ※A⑩は好きなところに飾ってください。

※腰のスイングをロック
できます。

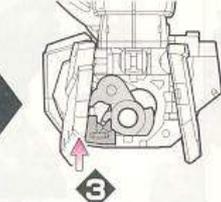
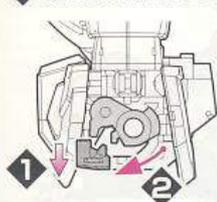


※脚の可動範囲が広がります。

① ロックを下げます。

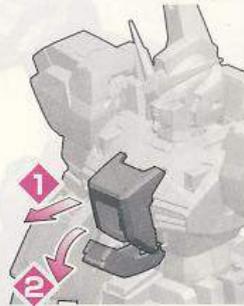
② 股間軸を前に動かします。

③ ロックを上げます。



※説明のため、一部イラストを省略しています。

〈コクピットハッチの開け方〉



F16

※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。

※画像の完成品は塗装してあります。
※画像は参考のために完成したものをしています。

WEAPON

【頭部バルカン・ポッド】

ヘッドユニット内部の構造変更に伴ってオプションとされた。左側が2門の銃口を備えたサブセンサー装備の機関部で、右側は弾倉兼カウンターウエイトとして機能する。カートレスの弾丸が採用されており、ガンダムよりも装弾数が増量されている。



【ビーム・サーベル】

バックパックのフレキシブルバーニアスラスタに1基ずつ計2基装備する。形状は専用にデザインされているが、内装するビーム発振デバイスは標準的な規格品を改造したもので、ユニット自体に発振機構を備えている。



【ビーム・ライフル】

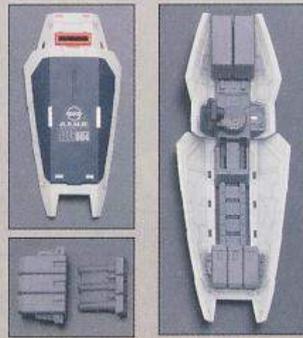
エネルギーバック方式を採用し、コンピューターからのエネルギー供給機構はオミットされている。モード変更による出力調節が可能で、1バックあたり、戦艦並みの威力を持つ最大出力であれば3発ほど、通常の運用であれば7発程度のエネルギー容量を持つ。サイドスカートやラッチなどにマウントして携帯することもできる。



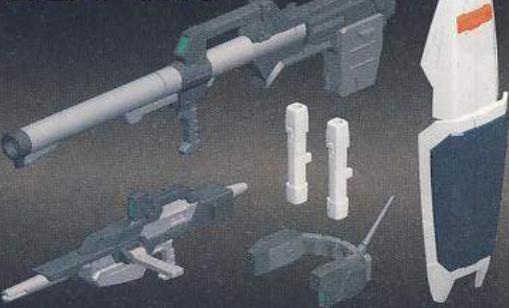
【ハイパー・バズーカ】数年前から連邦軍で採用されている標準的な兵装の更新装備。腰部のマウントラッチに装着することができるほか、機関部は打突に使用することもできるほどの堅牢さを誇る。実際そのように運用された例の有無は不明。通常弾のほか、散弾や各種榴弾なども使用可能。

【シールド】

全長を伸縮でき、慣性モーメントを調整できる。表面には耐ビームコーティングが施されており、数度のビーム直撃を減免する。裏面に予備のエネルギーバックやミサイル・ランチャーを装備することも可能。

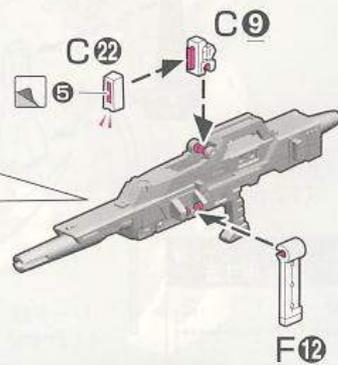
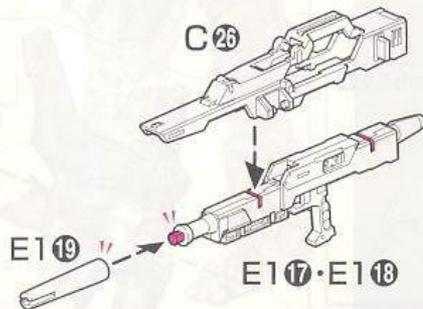


WEAPONS



GUNDAM Mk-II A.E.U.G.
PROTOTYPE MOBILE SUIT FX-178

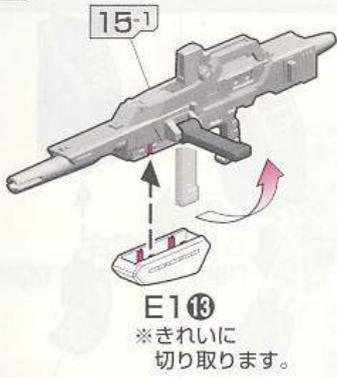
15-1 [ビーム・ライフルの組立] BEAM RIFLE



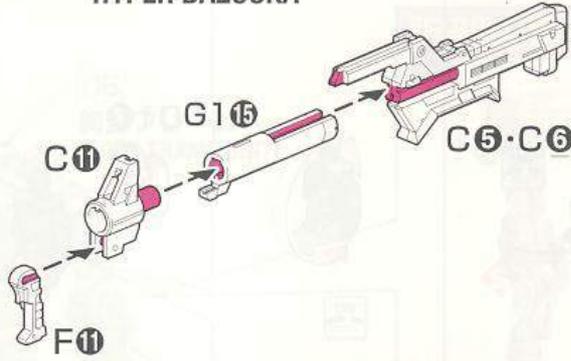
※組立図中の
記号説明

① シールの
番号

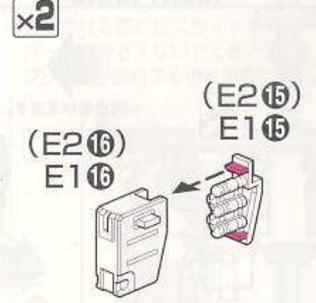
15-2



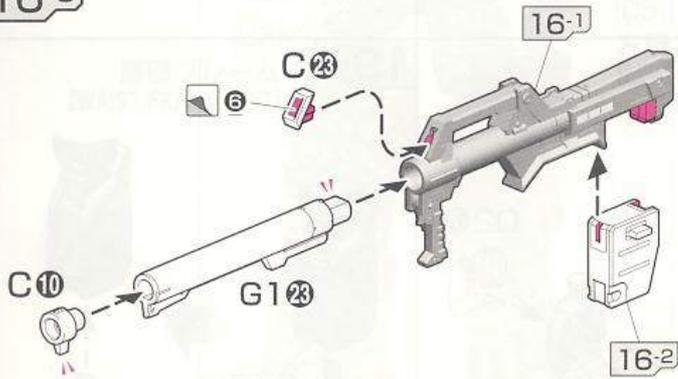
16-1 [ハイパー・バズーカの組立]
HYPER BAZOOKA



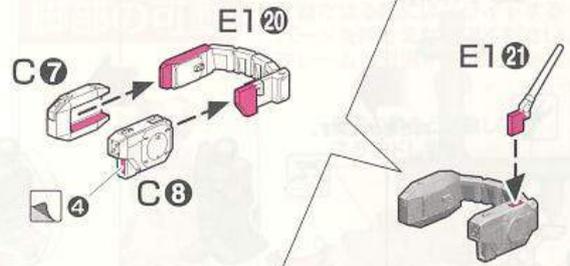
16-2



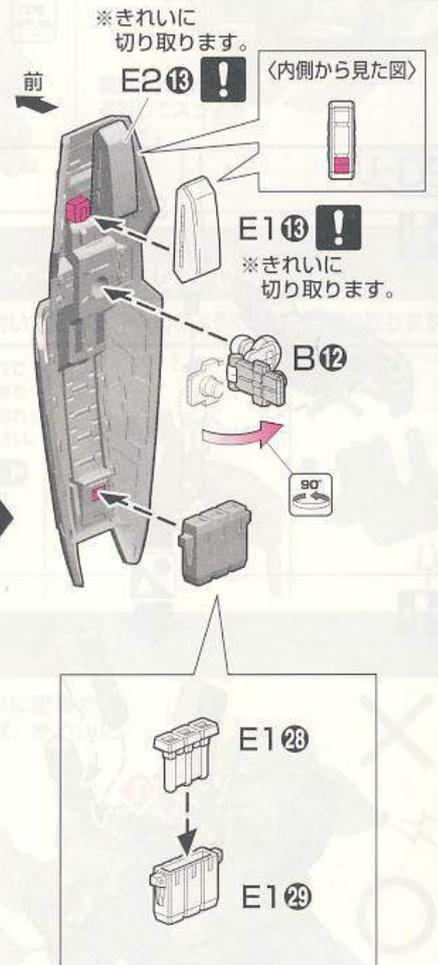
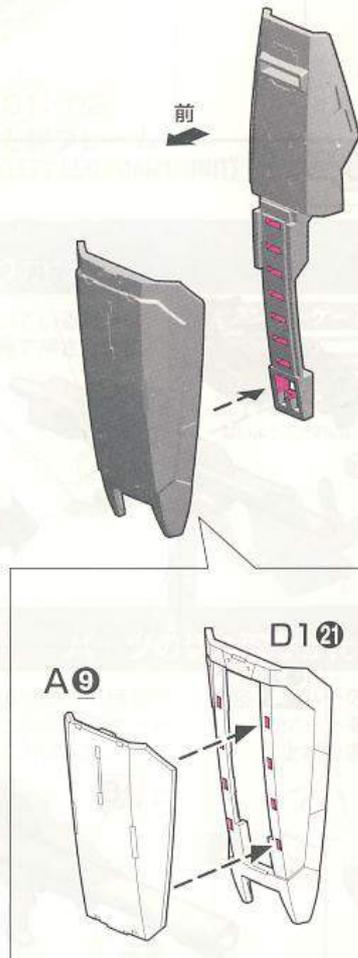
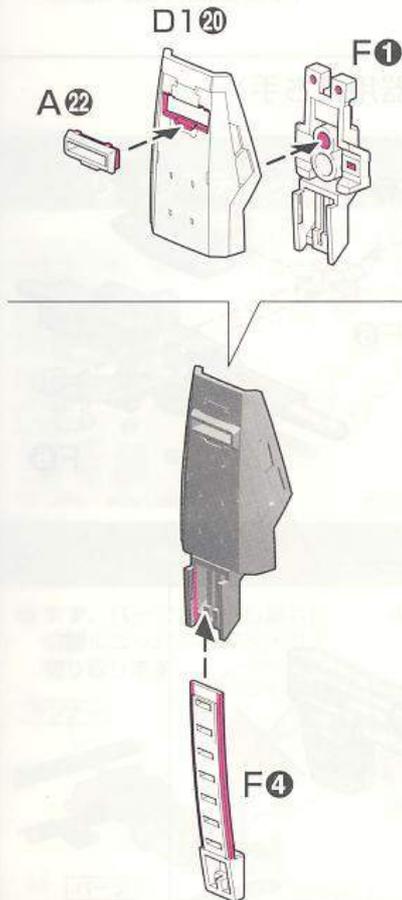
16-3



17 [バルカン・ポッドの組立]
VULCAN POD



18 [シールドの組立]
SHIELD



※組立図中の記号説明

x2 部品を数値の個数作ります

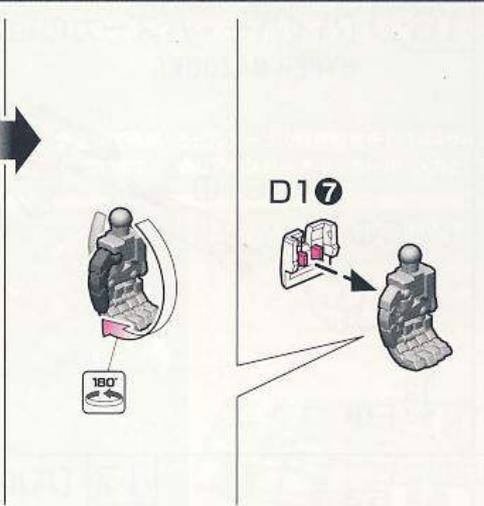
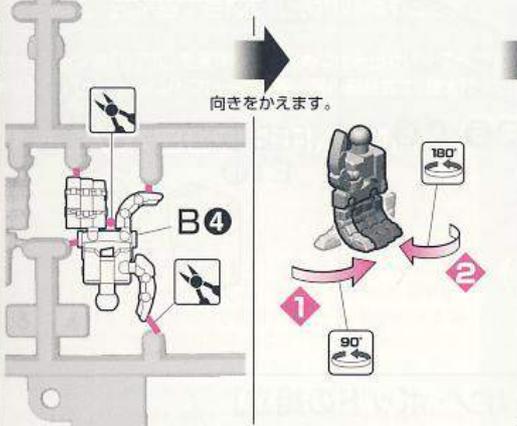
1 シールの番号

! 向きに注意して組み立てる

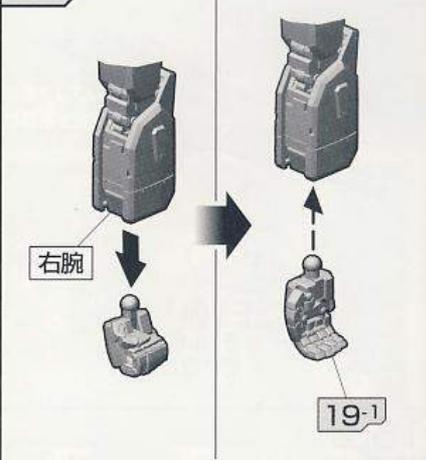
90° 数値に合わせて回転させます

19-1 [右手首の組立]

RIGHT HAND

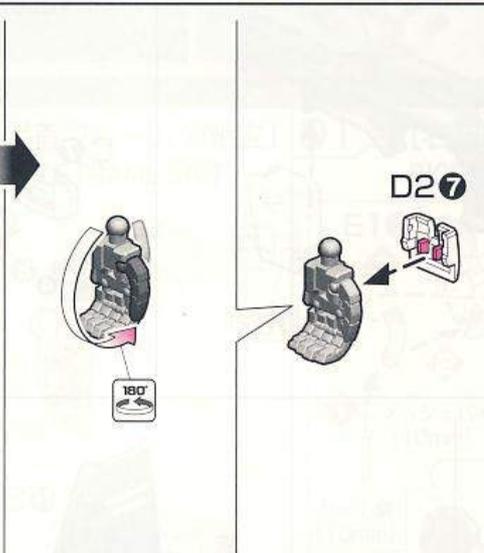
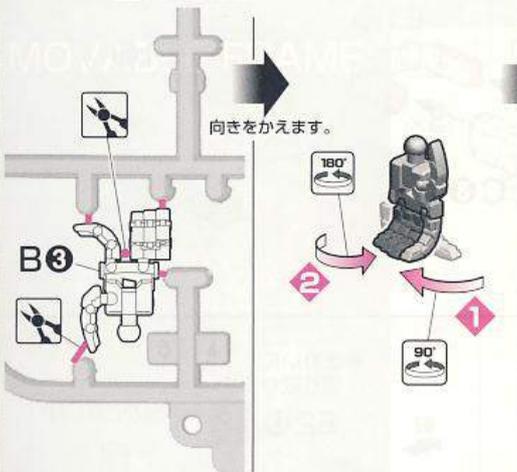


19-2



19-3 [左手首の組立]

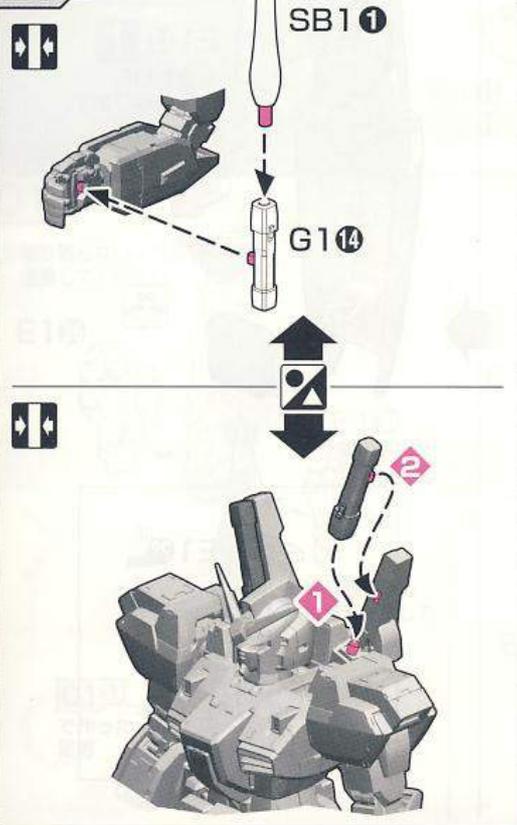
LEFT HAND



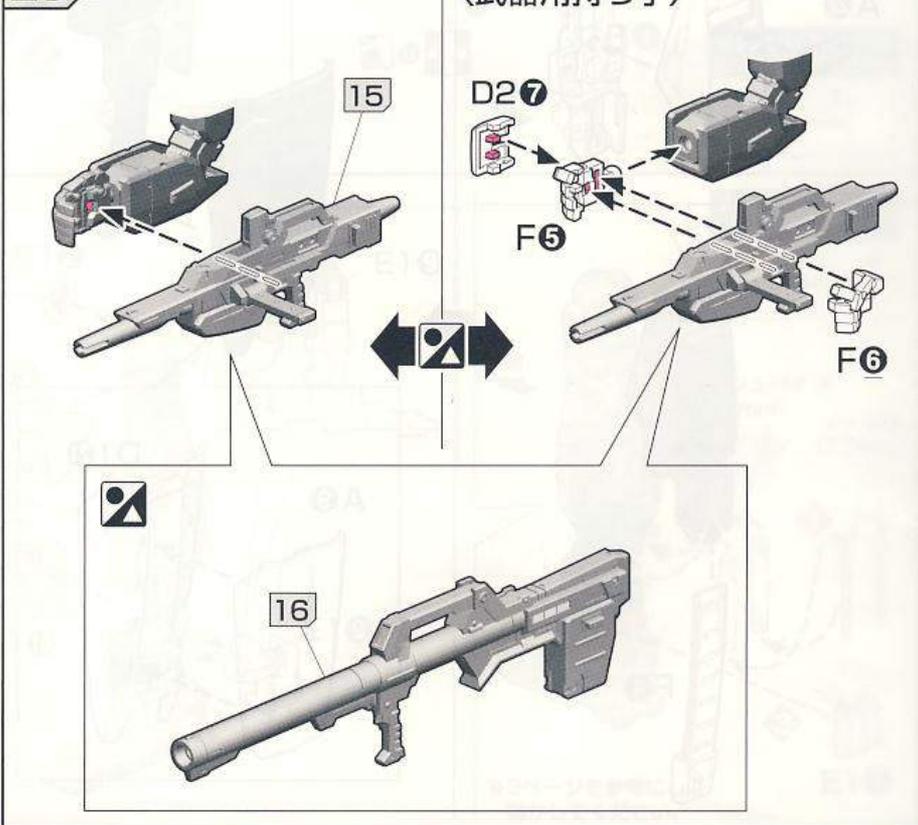
19-4



20-1

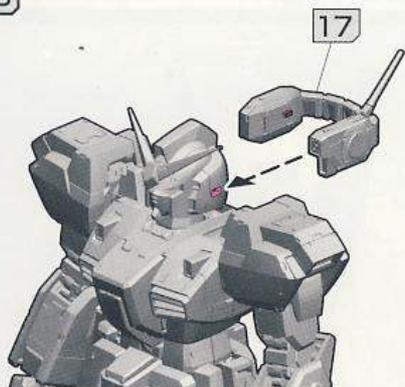


20-2



〈武器用持ち手〉

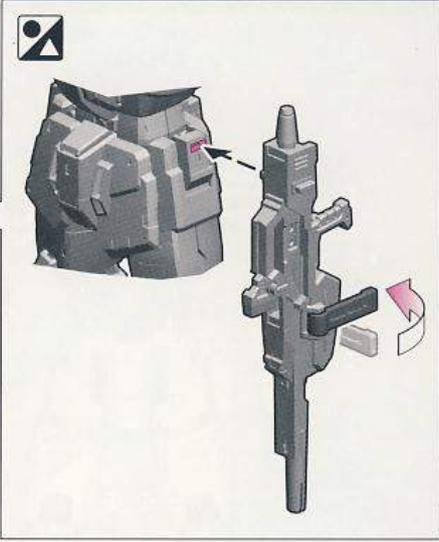
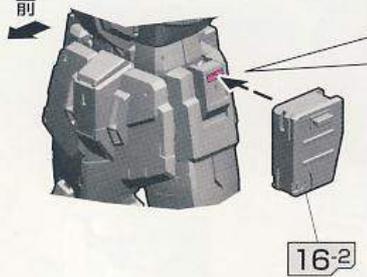
20-3



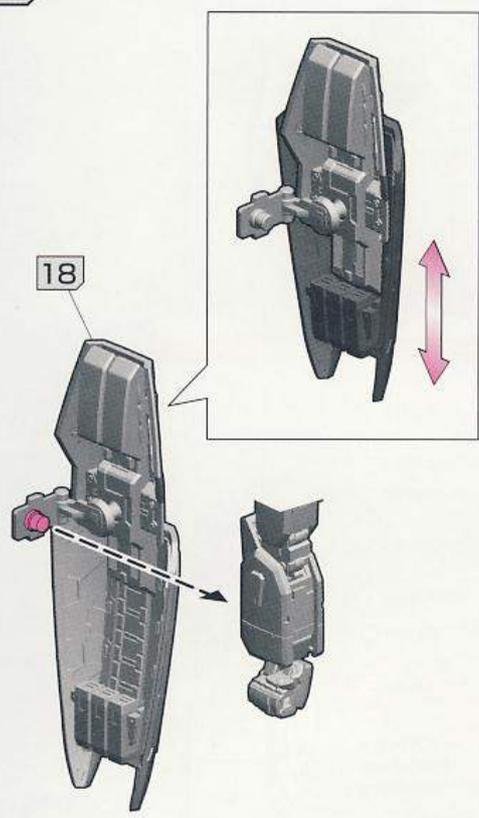
※説明のため、一部イラストを省略しています。

21

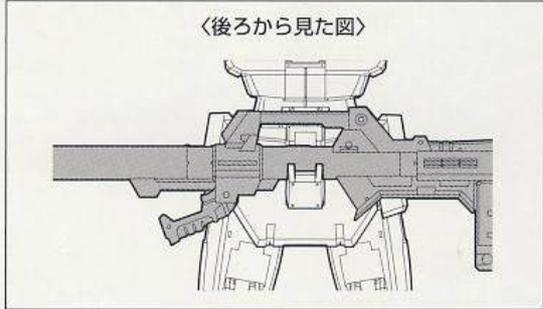
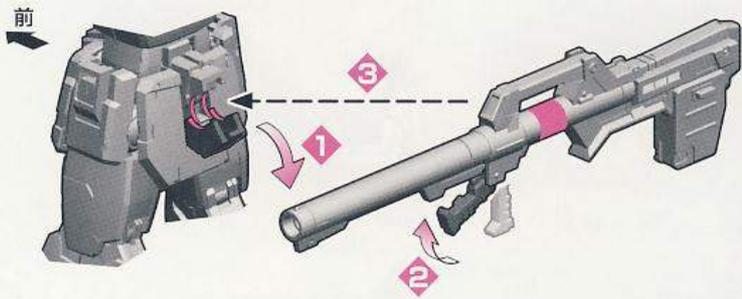
前



20-4



前



《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記していただき、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼 500-12
(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。Bパーツはランナー単位での販売です。

部品番号	取扱説明書	Bパーツ	リアスティック デカール	その他の部品
部品代	150円	700円	350円	各60円
郵送料	200円	140円	80円	120円

・電話受付時間 月～金曜日 (祝日を除く) 10:00～16:00
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード 0176319

1/144SCALE RGシリーズ
RX-178 ガンダムMk-II
エウゴ仕様

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした/なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号・年齢
() () 才

R2174360 12.04

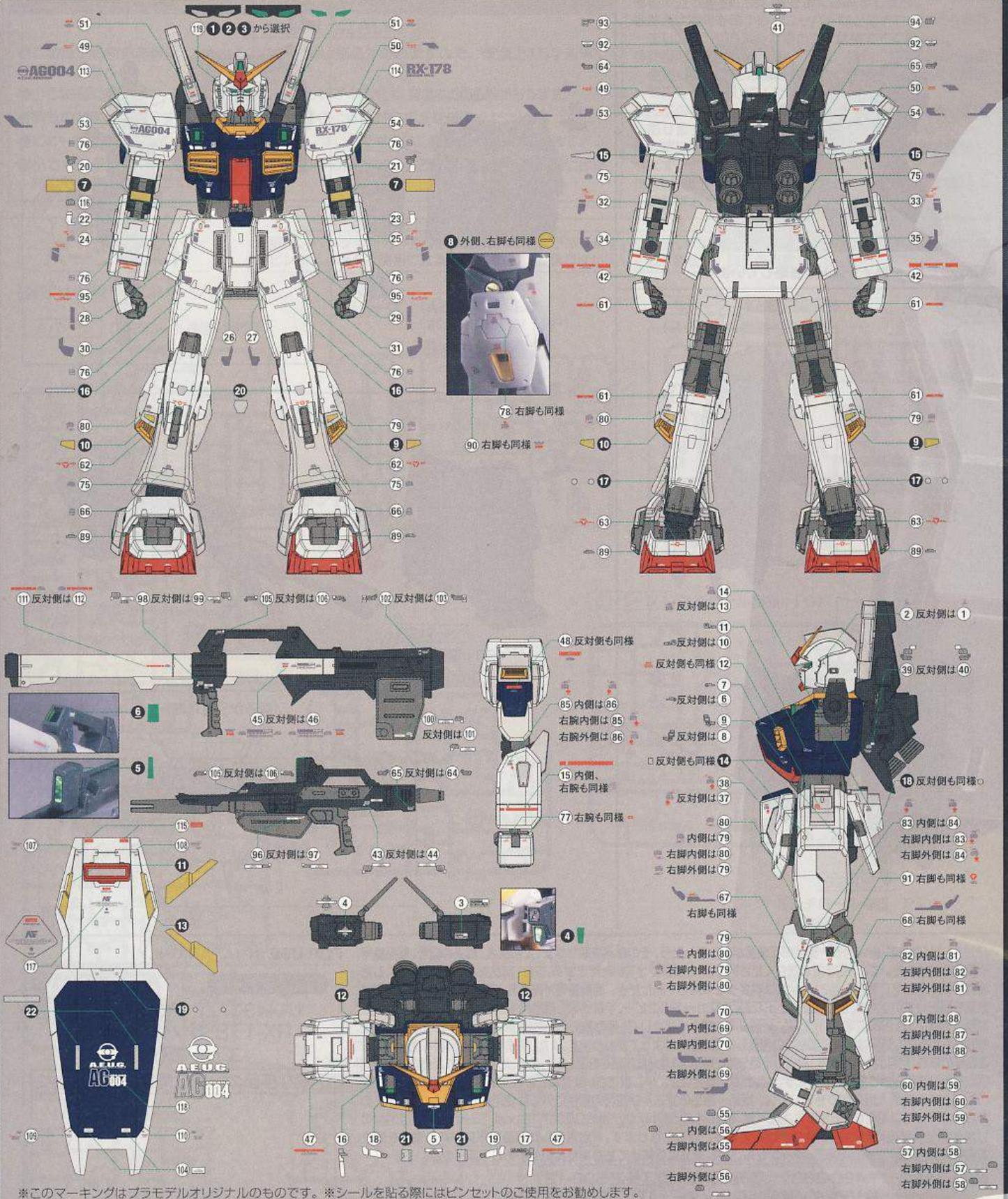
2012.04/T・ON ※コピー使用可

※組立図中の記号説明 どちらかを選んで取りつける

REALISTIC DECAL

※マーキングシールを貼る位置を数字で表してあります。
 ※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。
 ※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。※貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。



※このマーキングはプラモデルオリジナルのもので、シールを貼る際にはピンセットのご使用をお勧めします。

COLOR CHART

※塗装を楽しみたい方は、右の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
 ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

- 本体等ホワイト部の塗装色。
ホワイト(95%)+グレー(5%)+ブルー(少量)
- スネ等ライトグレー部の塗装色。
ホワイト(90%)+グレー(10%)
- 胸等ダークブルー部の塗装色。
インディゴブルー(45%)+ブラック(25%)+ホワイト(15%)+レッド(15%)
- インテーク等イエロー部の塗装色。
ホワイト(80%)+オレンジイエロー(40%)

- コックピット/ハッチ等レッド部の塗装色。
モンザレッド(80%)+シャインレッド(40%)
- 武器等グレー部の塗装色。
グレー(85%)+ブラック(10%)+パープル(5%)
- バックパック等ダークグレー部の塗装色。
ミッドナイトブルー(85%)+ホワイト(10%)+インディゴブルー(5%)

- 本体等ホワイト部の塗装色。
ホワイト(100%)
- 肩、ヘルメット、ひざ等ダークブルー部の塗装色。
インディゴブルー(45%)+ブラック(25%)+ホワイト(15%)+レッド(15%)
- ベルト等ブルーグレー部の塗装色。
ブルーグレー(100%)
- バックパック等ライトブルー部の塗装色。
ブルーグレー(80%)+ホワイト(40%)
- バックパック等ブラック部の塗装色。
ブラック(100%)
- バイザー/スカイブルー部の塗装色。
スカイブルー(100%)